

カリキュラム(計画) 日本語指導が必要な児童生徒等支援研修会(藤枝市・吉田町)

作成者 氏名：南里 哉子

養成・○研修 / ○基礎・○専門・○支援員 (該当するものに○)

★参照したモデルプログラムNO. (報告書 pp. 207-244) 下線：内容・項目 (pp. 72-76)

日時・場所	2018年7月2日(火) 13:10~16:25 ※内講義 13:20~15:30(130分)			
実施団体・機関	藤枝市教育委員会・吉田町教育委員会 (合同開催)			
研修・授業名	平成30年度日本語指導が必要な児童生徒等支援研修会			
受講者	人数：24名 担当教員19名(内2名加配)・藤枝市支援員3名・市教委担当者2名			
演題・テーマ☆	現状と課題 —子どもたちの困難の把握とその支援—			
到達目標	国内の外国人児童生徒等に対する教育の課題を知り、教育・支援に対する意欲を高める。			
活動展開 (分)	★	形態	留意点	参考資料
導入1：(10分) ○藤枝市・吉田町の外国人児童生徒受け入れ状況を知る 導入2：(15分) ○「日本語指導が必要な児童生徒」について 展開1：(30分) ○「特別の教育課程」について 展開2：(45分) 「個別の指導計画」 ○個別の指導計画作成の必要性を知る ○個別の指導計画の構成要素を理解する ○個別の指導計画を作成する (タイプを示す)	③	講義	・藤枝市教委が担当	統計資料
		講義	・日本語指導が必要な児童生徒の対象、義務教育への就学義務から「特別の教育課程」の話へ	『ボランティア奮闘記 vol.1』愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム
		講義	・期待される効果	
	⑬	講義 活動	・就学状況の記録の意味を理解する ・具体的な指導計画と評価 (『学習目標例』を見ながら具体的に計画を立てる)	『外国にルーツを持つ子どもたちの学習目標例』

